

# みなこの歴史散歩

えんぶんおつかこぶん

## 円墳大塚古墳

### 7世紀前半

#### の円墳



社会教育担当 馬場

No.5

皆野寄居バイパスの皆野大塚出口付近にある古墳を皆さんご存じですか？大塚古墳といい、7世紀前半に築造された古墳です。(写真1)



写真1

## 古墳ってなんだろう？

古墳とは盛土のある古いお墓のことで、秩父地域では7世紀に多く築造されました。

古墳の形は様々あり、有名なものとしては、鍵穴のような形をした前方後円墳(ぜんぽうごえんぼん)があげられます。また、古墳のなかには墳丘(ふんきゅう)の周りに埴輪(はにわ)を並べているものもあります。皆野町内では、金崎に所在する天神塚古墳(てんじんづかこぶん)で埴輪のかげらが出土しています。

## 大塚古墳の墳丘と周溝

大塚古墳は、直径約30m、高さ6mの円形の古墳(円墳)で、秩父地域のなかでも比較的大規模な古墳です。墳丘の周囲には、幅約4m、深さ1mの溝(周溝)が巡っていますが、築造されてから長い年月が経っているため、溝の中に土が堆積し、現在はほぼ平らな状態になっていきます。しかし、墳丘の周りを注意深く観察してみると、周囲が少し下がっていることがわかります。

## 大塚古墳の内部はどうなっている？

大塚古墳の墳丘内には石室という石造りの墓室が構築されています。石室の入口部分がかがまないと入れないくらい狭いですが、中に入ってみると、約2.9mと大人が立っても余裕な高さがあります。(写真2)



写真2

石室は、石と石の隙間に小石や石綿を詰めて、密封性を高めています。また、秩父地域で産出される結晶片岩(けっしょうぺんがん)を積み上げて構築しており、地元で産出する石材をうまく利用していることがわかります。

以上のように、大塚古墳は保存状態が良く、石室の構造に秩父の地域性がよく表れていることから県指定史跡に指定されています。

※石室を見学したい場合は、教育委員会までご相談ください。



## いつも通る道 なんか変だな 道路の変化に気づいたら

いつも通る道に小さな石(木)が落ちている。道路に穴が開いている。よくあること？ たいしたことないかな？？ 事故にはならないだろう・・・でも、大災害の予兆なのかもしれません！ 小さなことでも、いつも通る道の変化にお気づきの時は、連絡してください。

連絡先 建設課

☎62-1463

(国・県道)秩父県土整備事務所

☎22-3715